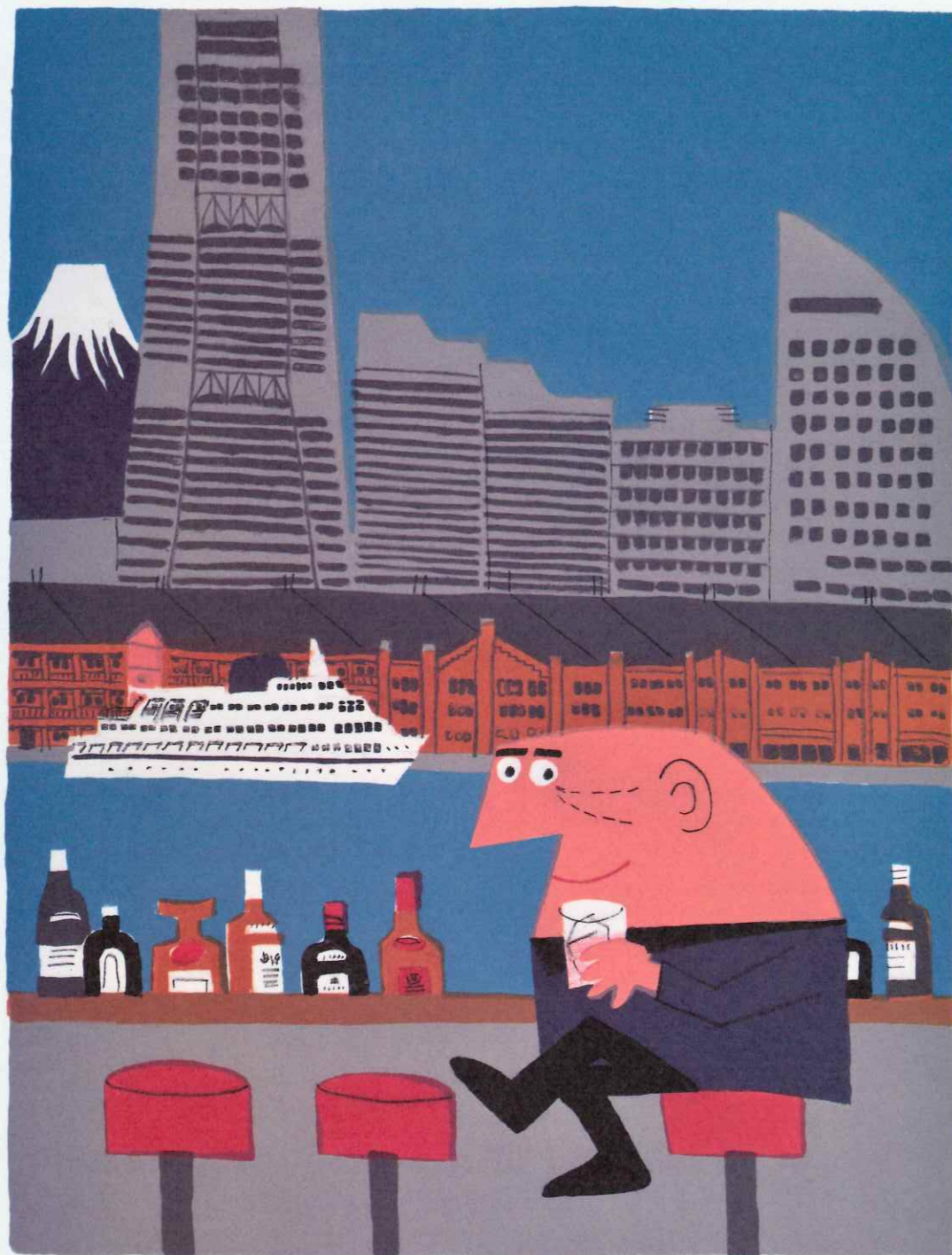


柳原良平没後 10 年
企画展

柳原良平

をかたちづくるもの



2025
8/9[±] - 10/13 月・祝

開館時間 10:00 ~ 17:00 (最終入館 16:30)

休館日 月曜日 (祝日にあたる場合は開館し、翌日休館。8月12日(火)、9月22日(月)は開館)

入館料 一般500円 / 65歳以上400円 / 小・中・高校生200円

※ 本展は横浜みなと博物館の入館券でご見学になれます。

※ 帆船日本丸との共通券(一般800円、65歳以上600円、小・中・高校生300円)で本展もご見学になれます。

※ 毎週土曜日は小・中・高校生の共通券が100円の特別料金になります

助成: みなとの博物館ネットワーク・フォーラム



協賛: 株式会社 ありあけ / サントリーホールディングス株式会社 / 株式会社 商船三井 / 株式会社 美術著作権センター

みなとみらい21 熱供給株式会社 / 柳原良平作品鑑定委員会 / 株式会社 横浜銀行 / 横浜高速鉄道株式会社

株式会社 横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) / 横浜ベイサイドマリーナ株式会社

特別協力: 株式会社 サン・アド

後援: 神奈川新聞社 / 公益財団法人 日本海事広報協会 / 一般社団法人 横浜港振興協会 / 横浜市港湾局 / NHK 横浜放送局 / t v k (テレビ神奈川)

横浜みなと博物館

〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-1-1 公益財団法人 帆船日本丸記念財団
TEL 045-221-0280(代表) FAX 045-221-0277 WEB <https://www.nippon-maru.or.jp/>



柳原良平没後10年 企画展

柳原良平

をかたちづくるもの

船・アンクルトリス そして横浜

今年、2025(令和7)年は2015(平成27)年の柳原良平逝去から10年の節目の年となります。本企画展では、柳原良平が人生をかけて愛し、創作活動の核とした「船」、そして柳原の名前が広く知られるきっかけであり、現在でも親しまれている「アンクルトリス」、32歳の時に「船が見える場所に住みたい」と転居し、その後半世紀以上を暮らした「横浜」を描いた作品を展示します。

柳原は生涯船を愛し、自らの分身のようなアンクルトリスを描き、そして横浜を母港として暮らし、生きていました。柳原良平を知ろうとすると、「船」「アンクルトリス」「横浜」のどれもが柳原をかたちづくるもの、そして柳原良平の多彩な仕事の中心になるものです。本展では初公開作品、そして本展に向けた調査の中で発見された作品も多くあります。柳原良平をかたちづくる多彩な作品をお楽しみください。



船でいっぱい(仮題) 1964(昭和39)年 インク、様々な紙

『しょうぼうといしゅうどうせよ』原画 柳原が手がけた2冊目の船の絵本。切絵で製作した 初公開



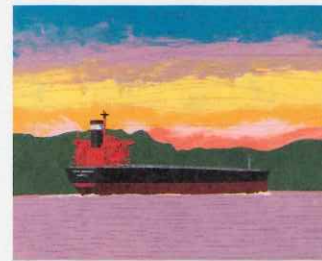
カクテルを作るアンクルトリス
1968(昭和43)年 インク、様々な紙

『洋酒マメ天国 第6巻 カクテル』裏表紙原画 同誌はサントリーの広報誌。1967(昭和42)年から全36冊が刊行された。柳原は全巻の表紙を切絵で作成した 初公開



飛鳥
1993(平成5)年
リトグラフ

横浜港シンボルタワーの横を通り、入港するクルーズ客船飛鳥 初公開

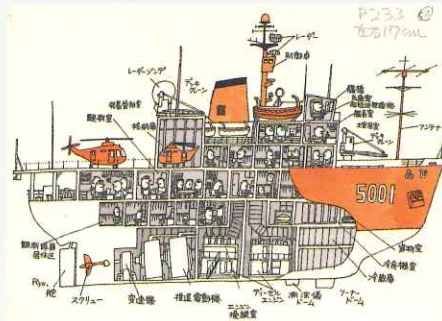


TORM BORNHOLM
2005(平成17)年
油彩、キャンパス

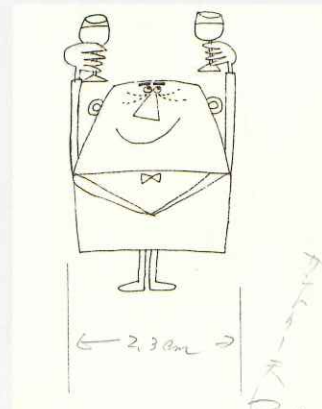
朝焼け、もしくは夕焼けの中を航行するバルクキャリア。6色の絵の具を勢いよく塗り、光の変化を表現している 初公開



日本のクルーズ船 三隻揃い踏み 2009(平成21)年 インク、様々な紙
大さん橋に停泊する日本のクルーズ客船3隻。手前：飛鳥II、右奥：ぱしふいっくといなす、左奥：にっぽん丸。中央は柳原本人と夫人が 初公開



南極観測船は断面図(仮題) 1968(昭和43)年 ペン、紙
『柳原良平 第2船の本』原画 艦内の部屋や乗組員の様子を断面図で図解している。船の説明の際に断面図をよく用いた



ワインを両手に掲げる
アンクルトリス(仮題)
1965(昭和40)年
インク、紙

『サントリー天国』3号挿し絵 同誌はサントリーの広報誌。1965(昭和40)年から2年間で全12冊が刊行された。柳原は全巻の表紙を切絵で作成、挿し絵も担当した 初公開

関連事業

ガイドツアー「柳原良平の船と横浜をめぐる旅」

企画展を担当学芸員の解説付きで見学後(約40分)、横浜みなと博物館を出発地点とし、横浜シティガイド協会の案内(約100分)で柳原ゆかりの横浜港と周辺の街をめぐる

※雨天決行・荒天中止

○日時：9月27日(土)、10月2日(木)、10月8日(水)、10月12日(日) 10:00～13:00頃

○受付開始：8月19日(火) ○参加費：1名1,500円(博物館入館料、シティガイド料金、記念品を含む)

○集合：横浜みなと博物館総合案内10時集合。13時頃山下公園で解散予定 ○定員：各回20名

○申し込み方法：件名を「柳原良平歩き参加申し込み」とし、参加を希望する日、参加者全員の住所、氏名、電話番号を明記の上、横浜みなと博物館(ymp@nippon-maru.or.jp)までメールでお申し込みください。先着順のため定員に達し次第申し込みを締め切ります。※今回お申込いただいた個人情報は当行事の運営以外の目的で使用することはありません

学芸員による展示解説

○日時：8月17日(日)、9月15日(月・祝)、10月13日(月・祝) 各日 ①11:00 ②14:00

○会場：横浜みなと博物館特別展示室 ○参加費：無料 ※ただし、企画展または常設展示の入館料が必要。申込不要、当日会場へお越しください。

開催中の柳原良平アートミュージアム特集展示

柳原良平没後10年記念 橋と船の博覧会 特集展示

2025年5月8日(木)～11月16日(日)

国内外の橋と船が描かれた作品を約20点展示します

次回の柳原良平アートミュージアム特集展示

柳原良平のポスター展(仮)

2025年11月18日(火)～2026年5月6日(水・振休)

柳原が手がけた、親しみやすく注目を集めるポスターの数々を紹介します



交通：JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車。またはみなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅下車 いずれも徒歩5分

公益財団法人 帆船日本丸記念財団
〒220-0012
神奈川県横浜市区みなとみらい2-1-1
TEL 045-221-0280
FAX 045-221-0277

Webサイトはこちら



横浜みなと博物館